

2019 年度第一回日内連主催講演会

講演会テーマ：“自動運航、自律運航の開発動向と最新情報”

— 自動運航、自律運航はいつ頃実現できるのか？船級・船社・エンジンメーカー・研究機関の対応は？ —

開催日：2019年9月26日（木）

場所：笹川記念会館 4階 第1・第2会議室

講演プログラム

講演題目(時間)	講演者(敬称略)
開会の辞(09:40~09:45)	日内連
1. 船級における自航・自律船の規則の状況、取り組み事例について (09:45~10:55)	
(1) 自動運航船の規則動向とNKの取り組みについて (09:45 ~ 10:20)	松本 俊之 (日本海事協会)
(2) DNV GLの自律運航船への取り組み (10:20 ~ 10:55)	三浦 佳範 (DNV GL AS, ジャパン)
2. 船社での取り組み状況 (10:55~11:30, 12:30~13:40)	
(1) NYKグループの自動運航船への取り組み (10:55~11:30)	沓名 弘二 (MTI)
昼休み(コーヒー・ジュースを準備) (11:30~12:30)	
(2) 商船三井の自動・自律運航への取り組み (12:30~13:05)	山下 雄二郎 (商船三井)
(3) 自動運航システム開発と安全運航への活用 (13:05~13:40)	佐々木 丈一 (川崎汽船)
3. エンジンメーカーによる対応 (13:40~14:50, 15:10~15:45)	
(1) Wärtsiläの自動・自律運航への取り組み (13:40~14:15)	福島 良典 (バルチラジャパン)
(2) On a Journey towards Autonomous Operation? (14:15~14:50)	友弘 二成 (MAN ES ジャパン)
休憩 (coffee break 14:50 ~15:10)	
(3) Autonomous Ships –Impact on 2-Stroke Main Engine Design– (15:10~15:45)	Stefan Goranov (WinGD)
4. 研究機関による取り組み状況 (15:45~16:55)	
(1) 避航操船を中心とした自律船技術について(15:45~16:20)	丹羽 康之 (海上技術安全研究所)
(2) AVL approach towards autonomous shipping (16:20 ~ 16:55)	Rien Hoogerbrugge (AVL)
閉会の辞 (16:55~17:00)	日内連

(注)講演 3.-(3)及び 4.-(2)は、英語の講演(通訳なし)を予定しております。

プログラム・演題は都合により予告なく変更される場合があります

(お願い事項)

CD内の講演資料から無断での流用をされないよう、お願いいたします。

講師の方々の現職

講演番号

- 1-(1) 松本 俊之 氏: 一般財団法人日本海事協会 執行役員 技術研究所長
まつもと としゆき
- 1-(2) 三浦 佳範 氏: DNV GL AS, Japan
みうら よしのり マリタイムテクノロジーアンドリサーチ マネージャー
- 2-(1) 沓名 弘二 氏: (株)MTI 船舶技術グループ 船舶ソリューションチーム チーム長
くつな こうじ
- 2-(2) 山下 雄二郎 氏: (株)商船三井 スマート SHIPPING 部輸送チーム・チームエキスパート(機関長)
やました ゆうじろう
- 2-(3) 佐々木 丈一 氏: 川崎汽船(株) 理事
ささき じょういち
- 3-(1) 福島 良典 氏: バルチラジャパン(株) マリンビジネス事業本部 営業部長
ふくしま よしのり
- 3-(2) 友弘 二成 氏: マンエナジーソリューションズ ジャパン(株) 代表取締役社長
ともひろ つぐなり
- 3-(3) Mr. Stefan Goranov: Winterthur Gas & Diesel Ltd., Program Manager – Hybridisation
ステファン ゴラノフ
- 4-(1) 丹羽 康之 氏: 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
にわ やすゆき 知識データ・システム系 上席研究員
- 4-(2) Mr. Rien Hoogerbrugge: AVL List GmbH, Director Business Development,
リエン フーガーブルッゲ High Power Systems, Powertrain Engineering

-----お知らせ-----

2019 年度第二回日内連主催講演会

2019 年度第二回日内連講演会を、本年 6 月に開催されました「第 29 回 CIMAC バンクーバー大会の報告講演会」とさせていただき、内燃機関の基礎的な研究から運転実績・ユーザーの側面に至るまで、将来燃料、将来の統合システムの提案、GHG 削減等、極めて多岐に亘り、また将来の方向を示唆するような、興味のある約 250 編の論文の講演内容について、各分野の最新技術、開発動向に関して、大会に参加された方に講師をお願いし、CIMAC 大会で発表された論文の要点・注目点をについてお話していただくことと致しました。

つきましては、原動機ユーザー、原動機メーカー、研究者、行政関係者など本問題に興味のある方、日頃これらの分野の計画、設計、開発、研究、運転・保守実務に携わっておられる方々の多数のご来聴をお願い申し上げます。テキストとしてはバンクーバー大会の全貌がわかる日内連技報第 8 号(発表論文全てをカバーする日本語抄訳版、カラー約 300 ページ; 当日配布)を使用いたします。

(なお、今回は神戸会場のみでの報告会となります。)

講演会テーマ: 第 29 回 CIMAC バンクーバー大会報告講演会

開催日: 2019 年 12 月 16 日(月) 09:25~17:00

場所: 神戸国際会館 9 階 大会場